青少年の成長支え半世紀

港区青少年指導員制度50周年を祝う

青少年の健全な成長を支えて半世紀―。港区に青少年指導員制度が発足して五十年の節目を祝い、六月二十一日に区内のホテルで記念行事が行なわれました。現役指導員やOB、関係団体から合わせて百三十八人の参加がありました。

盛大に行なわれた「港区青少年指導員制度発足50周年記念式典」＝6月21日、ホテルシーガルてんぽーざん大阪

挨拶する神地会長

第一部・式典では神地要・港区青少年指導員連絡協議会会長が挨拶。この中で同会長は昭和四十九年発行の同会の記録冊子から「ボランティア活動の始めはあっても終わりはない。苦しみと楽しみの繰り返しの中で、自分自身が成長し、その成長のプロセスがグループ発展のプロセスである。またグループ発展のプロセスが自分自身の成長プロセスである」との一節を引き、青少年と苦楽を共にする中でこそ指導員の成長も組織の発展もあることを、自らの実感として強調しました。

◆責任感と誇り感じて

第二部では飲食の卓を囲んで新旧指導員らが交流し、思い出話などに花を咲かせていました。この中で奥野由紀子さん(四九)(港晴)は十数年活動し、今年度で定年(五十歳)ということでした。「PTA活動を経て軽い気持ちで始めましたが、交流の輪が学校から地域へ広がったのが嬉しかったです。成人式では自分たちが中心を担っている責任感と誇りを感じました。家庭との兼ね合いが難しかったですが、やりがいの方が勝っていました。親が地域のために尽くす姿を見せることは我が子の成長にもよかったと思っています」。

◆昔も今も基本は同じ

猪子勝文さん(五九)(波除)は三十七歳から定年まで活動。「ソフトの監督をしていましたが、市大会で負けた後、『この悔しさを忘れるな』とノックした時、体にボールが当たっても泣きながら向かって来る女の子がいて、こちらも思わず熱くなったのを覚えています。三十代になったその子らが最近、同窓会をと声をかけてくれた時は感激しました。昔も今も基本は同じ。心から怒ってくれる大人を子供は求めているのです」。

◆仕事にもプラスに

丹羽誠さん(二六)(南市岡)は七年目。「先輩に無理やり(笑)引き入れられましたが、子供たちの喜ぶ顔にやりがいを感じるようになりました。自分の成人式をすることで人間としての幅も広がります。これまでの活動スタイルの上に何か新しいものを自分から提案できたらとも考えています」。

◆初の女性会長として

森美智子さん(三先)は平成八年から十年間活動、うち四年間は市内初の女性会長でした。「成人式の準備の中で、『中学時代の恩師を招こう、スライドを上映しよう』と皆で手を尽くし、実現した時のことが一番の思い出。初の女性会長ということでしたが、三人の副会長の支えと家族の協力があったからこそです」。

「地域貢献に喜び」

新旧指導員ら経験交流

◇

港区青少年指導員連絡協議会は昭和三十四年、「青少年の余暇の善導と健全な青少年活動の推進を図るとともに明るく住みよい地域社会を建設すること」を目的に、港区青少年指導員会として発足。以後、他の団体とも協力しながらスポーツ大会や成人祝賀行事などに関わり、地域青少年の健全な成長を支えてきました。現在、百四十三人が十一地域で活動しています。

◆人間の幅も広がる

新田未生さん(三八)(港晴)は去年、先輩に声をかけられて始めました。「我が子と一緒に催しに参加でき、それを通じて地域への貢献を実感できることが嬉しいです。色んな人と情報交換自分たちで企画できたのは一生の思い出です。休日の時間が削られる悩みはありますが、仕事の上でも人間としても、この経験はプラスになると思います」。

第2部では新旧指導員らの和やかな交流が見られた

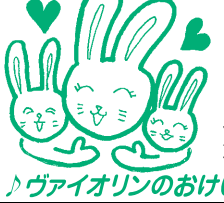
地域短信

■天保山運河防潮堤の耐震補強進む

平成十八年度から三年間の予定で行なわれてきた「天保山運河西岸防潮堤の耐震補強工事」(市港湾局)の二十年度分がこのほど完了。千舟橋から静波橋までの西岸約二百メートルのうち、昨年度分と合わせて百八十メートル超に新防潮堤が築かれた＝**写真**。同局では周辺住民の要請(十九年五月号で既報)を受け入れ、旧防潮堤(写真左端)を平成二十一～二十二年度に撤去する。

新入児募集！(H20.10.1以降に生まれた赤ちゃん)

赤ちゃん遊んでます！
～みんなキラキラしています～



基準保育
9～16時(8～18時も可)
保育料
収入や家庭事情により決定(市から補助あり)

♪ヴァイオリンのおけいこしませんか♪

大阪市承認 人見(ひとみ)ベビーセンター
☎6574-3423(東條)　港区磯路2-10-1　電話はPM4:30～

ROM&RAMのパソコン教室
●初心者対象
●CDやビデオは使わない
●月謝制、振替有
●就職支援コース有
5名迄の少人数制なので、先生との距離も近く、自分のペースで楽しく学べます。
港区八幡屋1-2-7　1F(スーパーサンデー並び)
お問合せ無料体験は 0120-26-2159

学校・家庭・人生の悩み・不安
◆孤独・自殺・いじめ・虐待・不登校・家出・子育て不安
… もう独りぼっちで抱えこまないで!! 訪問相談可
◆「話すこと」は「放すこと」　心のバリアを解き放そう!
◆中高生から大人まで　安心できる居場所を見つけよう!
●相談原則無料・秘密完全厳守　まずは気楽にお電話を!
心理カウンセリングルーム 樹もれ陽(こもれび) 港区港晴3-3 ☎6573-0284

タイのエイズの子どもたちをご一緒に支援しましょう！
日本気導術学会「チャリティー施術会」
山形県の山下文博さんがタイで行なっている「エイズの子どもたち」への癒し施術を支援。肩・腰・膝などお困りの方、ぜひお越し下さい。
●日時…7月17日㈮PM6:00～PM8:00
(今回は夜間ですので、ご注意下さい)
●場所…港区民センター1階集会室「菊」
弁天2-1-5　☎6572-0020
●受付…先着順　●支援金…1口500円(お志)
★施術会をお手伝い頂ける方を募集中★
お問合せ 快生堂整骨院内堀川(日本気導術学会担当理事)
磯路2-12-1公団磯路109 ☎080-1404-4339

第29回 港区 私たちと戦争展
入場無料
身近な歴史をほりおこし戦争の真実を次の世代に伝えましょう

とき 8月1日(土) 10:00～20:00
2日(日) 10:00～17:00
ところ 港近隣センター
八幡屋1-4-20 港中学校前 ☎6571-3056

実物から学ぶ 展示コーナー
旧港区役所の3階にあった「愛国婦人会寄贈」の鏡が身近な歴史を生き生きと映します。あの時港区の母と子は

国防婦人会発祥の地
出征兵士らに故郷の母を想わせたかっぽうぎにタスキがけ、やかんのお茶。

昭和17年、シンガポール陥落を旗行列で祝う三先国民学校5年生

原爆コーナー・沖縄コーナーも

被爆の実像や語り継ぎが、私たちの胸に世界の良心に平和の心をやきつけます。
核兵器廃絶をめざす
と、オバマ大統領が明言。新たな世界平和の流れを確かなものにしましょう。

体験から学ぶ 語りつぐコーナー
戦争に反対した若き知性
港区八幡屋宝町の米屋の息子
商大事件と森　龍実
話 林　直道 大阪市大名誉教授
「百人一首の秘密」・経済学など著書多数
8月2日(日)午後1時より
港戦争展会場2階ホールにて

治安維持法に奪われた若き知性

アッ兄さんや！
昨年の第28回展で大声があがりました。偶然訪れた実弟さん一家がこの写真を見つけられた瞬間です。

森龍実は、昭和18年大阪商科大学での民主化・反戦運動により治安維持法で投獄され、過酷な懲罰でひん死の重病となり、「執行停止」で港区の実家に戻され、半月後に亡くなりました。19年末、22才でした。
ともに懲罰を受け九死に一生を得た林直道さんは「森くんのことはずっと心にかかってきた。地元の人に知ってほしい」と初めて話されます。

戦前・戦中・戦後の写真や資料などありましたら、お寄せ下さい。

港戦争展実行委員会
港区磯路2-7-2-101 港生健会内☎6576-4809